

チャイナ エアライン エアバス社との A350 共同塗装機を受領 全 14 機の受領が完了

チャイナ エアライン（本社：台湾 桃園）とエアバス社（本社：フランス トールーズ）による A350 共同塗装機の引き渡しセレモニーが 10 月 22 日、エアバス本社にて執り行われました。エアバス社エグゼクティブヴァイスプレジデント ディディエ エブラード氏とチャイナ エアライン取締役会長 何煥軒が共同司会を務め、駐仏台北代表処代表 吳志中氏、ロールスロイス社シニアヴァイスプレジデント クリストフ モルス氏等来賓が招かれました。この度引き渡された特別塗装機は、台湾で初めてのエアバス社との共同塗装機であり、台湾で唯一のコーポレートカラーが施された塗装機でもあります。

チャイナ エアラインとエアバス社による A350 共同塗装機は、10 月 26 日台北-香港線より就航します。チャイナ エアライン取締役会長/何煥軒は、「チャイナ エアラインが誇る A350 は 2016 年 10 月の導入以来、地球約 1,197 周に相当する 4,788 万キロメートルを飛行しており、265 万人にも及ぶ世界各地のお客様にご利用いただいております。全 14 機の A350 を受領した事で、今後アジア、オセアニア、ヨーロッパ、アメリカ、カナダ全エリアのお客様に A350 によるより快適なサービスの提供が可能となり、競争力の向上が望めます。」と述べました。

エアバス社エグゼクティブヴァイスプレジデント ディディエ エブラード氏は、「チャイナ エアラインへの 14 機目の A350 引渡しは、チャイナ エアラインへの全機体の引渡し完了の記念となるだけでなく、チャイナ エアラインとエアバス社の 38 年に及ぶ協力関係を表しています。チャイナ エアラインが A350 を長距離路線に就航させている事は弊社の誇りでもあり、チャイナ エアライン A350 の優雅で美しく快適な客室デザインが多くのお客様から称賛されていることや、数々の名だたる国際的なデザイン賞を受賞している事など、大変嬉しく思います。」と述べました。

チャイナ エアラインとエアバス社による A350 共同塗装機は、デジタルプリントによる貼付け塗装ではなく、吹付による塗装が施されています。エアバス社のクラシックなカーボンファイバー模様にチャイナ エアラインのコーポレートカラーを合わせる作業は、高度な作業技術が求められる為、慎重に行われました。

チャイナエアライン A350 初号機には台湾の国鳥である「ミカドキジ」、エアバス社にとって 100 機目の引渡しとなったチャイナ エアライン 2 機目は「ヤمامスメ」を塗装デザインとしており、台湾文化や環境の特徴を活かしたデザインで、世界に台湾の魅力を発信しています。



チャイナ エアラインについて

□本社所在地：	台湾 桃園市大園區航站南路一號	□就航空港数：	29 各国・地域 156 空港
□加盟アライアンス：	スカイチーム	□設立年月日：	1959 年 12 月 16 日
□資本金：	54,709,846,500 台湾ドル	□所有機材数：	88 機
□平均機齢：	8.5 年	□取締役会長：	何 煥軒 (Ho Nuan-hsuan)
□日本支社長：	張 明璋 (Steve CHANG)		
□日本国内就航地：	札幌、東京 (成田/羽田)、名古屋、静岡、富山、大阪、広島、高松、福岡、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄、石垣		

※データは全て本リリース発行時現在のものです。

当社に関する記事や番組等を製作される際には、当社の日本における正式な名称である「チャイナ エアライン」と記載、または呼称してください。